２０１３年度　サンフレンズ後援会　事業報告

１．役員会

第１回　2013 年 9 月 29 日（日）活動状況報告、他の施設の後援会調査報告、
サンフレンズ法人改革と法人が後援会に望むことについて、
後援会の今後の活動について

第２回　2014 年 3 月 22 日（土）活動状況報告、2014 年度事業計画、
困った時の SOS 事業の概要について（昼食会）

第３回　2014 年 4 月 26 日（土）2014 年度事業計画、2014 年度総会、次期後援会役員について

２．事業報告

１）「人材育成」への支援

・21・老福連（21 世紀・老人福祉の向上を目指す施設連絡会）の職員研究交流集会（2013 年 12 月 7～9 日、京都）へのサンフレンズ職員４名の派遣を支援しました。

・サンフレンズ法人のインターンシッププログラムに関して、サンフレンズ法人においてインターンシッププログラムの計画が進行していないため、支援するまでに至っていません。

２）ボランティア活動と地域貢献事業への支援

・上井草園の納涼祭（8 月 25 日）に参加し、後援会の紹介、会員の勧誘を行いました。

・サンフレンズの地域貢献事業「困った時の SOS」に対して、「困った時の SOS」ネーム入りエプロン、作業用ズボンの購入、事業紹介のためのホワイトボードの設置などを支援しました。

３）入居者の家族および地域への情報発信の支援

①「市民のつどい」（2014 年 3 月 2 日）をサンフレンズ主催、後援会共催で実施しました。「市民のつどい」では、第１部では、サンフレンズ職員により、「老福連の職員研究交流集会の研修報告」、「不適切ケア検討委員会の取組について」、「楽しい時間を共有することの大切さ」の講演、第２部では、多摩同胞会理事長鈴木恂子氏により、「社会福祉法人の役割と市民活動の意義」の講演が行われました。

②2013 年度の各施設の施設公開は、週間単位でおこなわれ、模擬店は開かれなかったので、昨年度実施した後援会員への模擬店優待券の発行は見送りました。

③サンフレンズのホームページに後援会欄を設けました。

④後援会会員に「サンフレンズだより」、地域福祉推進室「Voices みんなの声」を送付しました。

４）後援会のあり方について

①後援会活動の参考とするために、9 月 11 日（木）に社会福祉法人竹友会「やわらぎ苑」を訪問し、「やわらぎ苑友の会」の活動を見聞しました。

②家族会、家族懇親会へ出席し、後援会を紹介する予定でしたが、未実施となりました。

５）社会福祉法人サンフレンズ 20 周年について

サンフレンズ法人 20 周年（2014 年）の計画は、2014 年度においてサンフレンズ法人と後援会の共催として具体化される予定となっています。

６）その他

サンフレンズ法人の防災対策支援を行いました。

ネットワーク環境整備の支援を行いました。

３．会員数と会費納入状況、ご寄付

会員数　個人会員　112 名、
法人会員　４団体
新しいホームを作る会、井荻地区民生委員協議会、上井草商店街振興組合、鈴木組

会費　個人会員　96 名、393,000 円、法人会員　４団体、40,000 円
ご寄付　個人９名、１団体、162,579 円
計　595,579 円

４．永年会員（10 年）の顕彰

個人会員　４名（サンフレンズ後援会現行役員を除く）
河邉尚之、小林牧子、笹原典子、田邉紀行（あいうえお順、敬称略）